

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

平泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略 2026 推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県西磐井郡平泉町

3 地域再生計画の区域

岩手県西磐井郡平泉町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1985 年の 9,703 人をピークに減少し、2020 年国勢調査結果では 7,252 人まで落ち込んでおり、35 年間で約 25%が減少している。なお、住民基本台帳によると 2025 年には 6,733 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所による本町の将来人口推計では、2050 年には総人口が 3,793 人となり、2020 年比で総人口が約 52%まで減少する見込みである。

年齢 3 区分別の人口割合をみると、1985 年以降、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）は減少傾向にある一方で、老年人口（65 歳以上）は増加傾向にあり、1985 年は年少人口が 21.1%、生産年齢人口が 64.2%、老年人口が 14.7%であったが、1995 年には年少人口と老年人口の割合が逆転し、2020 年には年少人口が 10.9%（791 人）、生産年齢人口が 49.7%（3,602 人）、老年人口が 39.4%（2,859 人）となり、少子高齢化が進展している。

自然増減の推移をみると、出生数は 2013 年の 61 人をピークに減少し、2023 年には 25 人となっている。その一方で、死亡数は 2023 年には 147 人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は-122 人（自然減）となっている。出生数の減少と死亡数の増加が同時進行する構造的な人口減少が続いており、今後も自然減の進行が懸念される。

社会増減の推移をみると、一貫して転出者数が転入者数を上回る社会減が続いている。特に、2015 年から 2019 年にかけては社会減が拡大傾向にあり、2019 年

には転入者数から転出者数を差し引いた社会増減は-71人（社会減）となっている。進学や就職を機に若年層が町外へ流出していることが大きな要因であり、子どもを産み育てていく世代がそのまま町外へ定着してしまうことから、生産年齢人口の減少とともに、出生数も増加しないという悪循環に陥っている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの活力低下等、地域の存続に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。

これら人口減少によって生じる課題への対応は、魅力的な仕事の創出と安定した雇用を充実させ、若年層世代の流出防止や町外からの移住・定住を促進することによって社会減を抑制するとともに、結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援を展開し、安心して暮らすことができる環境を整備することにより自然増につなげることが重要である。また、「世界遺産のまち・平泉」として、他地域にはない強みを活かし、地域資源の磨き上げや掘り起こしによる「通過型観光」から「滞在型観光」への転換を推進し、交流人口や関係人口を拡大させ、地域内消費と地域経済の活性化を図るとともに、産業・観光・子育て・教育・防災・交通など、あらゆる分野におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、多様な生活サービスの向上に取り組むことにより、あらゆる世代から選ばれる持続可能なまちの実現を目指す。

〔基本目標1〕平泉町で“稼ぐ”環境を生み出す

〔基本目標2〕平泉町での結婚・出産の希望をかなえ、豊かな子育て環境を整える

〔基本目標3〕平泉町でいつまでも安心して暮らせる環境を確保する

〔基本目標4〕多様な“ひと”に選ばれる平泉町をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就農者数（累計）	9人	15人	基本目標1

野生鳥獣による農作物被害額（円）	10,835,000円	8,297,000円
道の駅平泉への町内農産物出荷登録者数（人）	94人	100人
地産地消推進店舗の認定数（件）	24件	25件
森林経営管理制度に基づく森林整備面積（累計）（ha）	18ha	80ha
取引支援促進事業利用事業者数（事業者）	2事業者	6事業者
新商品開発件数（件）	1件	3件
商工業者や立地企業との懇談回数（回）	13回	15回
誘致企業における町民の新規採用数（累計）（人）	18人	30人
町内製造業事業所従事者数（人）	557人	700人
誘致企業数（累計）（社）	5社	7社
テレワーク等の実施企業数（社）	4社	7社
創業・事業承継数（件）	3件	3件
起業シェアハウス利用者数（人）	17人	20人
製造品出荷額	354億円	400億円
I o T人材育成講座開催数	10回	20回
放課後児童クラブの利用者数（人/月）	94人/月	92人/月

イ	婚活イベント実施回数（回）	1回	1回	基本目標 2
	結婚祝金給付件数（件）	5件	20件	
	合計特殊出生率	1.40	2.11	
	産婦・乳児訪問実施率（%）	100%	100%	
	地域子育て支援拠点事業利用者数（人/月）	26人/月	29人/月	
	5歳児健康診査受診率（%）	-	100%	
	妊産婦への医療費助成件数（件）	29件	30件	
	I C T指導員の配置（人）	1人	1人	
	特別支援教育支援員の配置（人）	12人	17人	
	「授業の内容がよくわかる」と答えた小学5年生の割合（%）	51.4%	60%	
	「授業の内容がよくわかる」と答えた中学2年生の割合（%）	28.2%	35%	
中学生の英語検定4級以上の受験者に対する合格率（%）	35.8%	60%		
ウ	健幸ポイント事業利用者数（人）	-	150人	基本目標 3
	特定健診受診率（%）	56.5%	60%	
	町内体育施設の利用者数（人）	36,058人	45,000人	

自主防災組織を対象とした訓練・研修会の開催数(回)	3回	23回
防災情報配信サービス登録者数(累計)(人)	1,000人	2,200人
防災士の育成数(人)	4人	10人
路線バスの年間利用者数(人)	104,130人	104,130人
交通系ICカード等の普及km数(km)	21km	104km
モビリティ・マネジメントの実施回数(回)	-	5回
1日1人当たりの生活系ごみ排出量(g)	562g	500g
一般廃棄物リサイクル率(%)	11.7%	25%
町道改良率(全路線)(%)	76.8%	78.0%
町民向け行政サービスのオンライン化の件数(件)	29件	40件
デジタル技術活用に関する町民向け相談会・学習会の開催回数(累計)(回)	23回	160回
まちづくりに関するワークショップの開催数(回)	0回	7回
行政区事業活動回数(回)	349回	430回
定住自立圏共生ビジョン取組事業数(事業)	42事業	45事業

エ	移住支援施策を利用して移住した転入者数（累計）（人）	9人	20人	基本目標 4
	空き家・空き地バンク登録件数（累計）（件）	10件	20件	
	平泉お試し居住体験事業利用者数（累計）（人）	2人	8人	
	平泉町未来づくり会議開催回数（累計）（回）	-	20回	
	中学3年生の町への愛着度（%）	-	70%	
	観光客入込数（人）	1,630,280人	2,200,000人	
	観光客宿泊者数（人）	30,574人	38,000人	
	広域観光連携事業数（事業）	6事業	7事業	
	ふるさと応援寄付金の寄付額（億円）	1.0億円	2.4億円	
	スパルタキャンプ修了生の町内への移住者数（累計）	6人	10人	
	スパルタキャンプ修了生の地域企業への就業及び町内での起業者数（累計）	12人	20人	
	ふるさと住民票カード発行数（累計）	8枚	100枚	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

平泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略 2026 推進事業

ア 平泉町で“稼ぐ”環境を生み出す事業

イ 平泉町での結婚・出産の希望をかなえ、豊かな子育て環境を整える事業

ウ 平泉町でいつまでも安心して暮らせる環境を確保する事業

エ 多様な“ひと”に選ばれる平泉町をつくる事業

② 事業の内容

ア 平泉町で“稼ぐ”環境を生み出す事業

1) 農林業の基盤強化と所得向上事業

【具体的な事業】

- ・効率的・安定的な農業の確立
- ・農産物の生産と消費の拡大
- ・森林経営の推進 等

2) 商工業の振興事業

【具体的な事業】

- ・中小企業の振興と経営の安定化
- ・産業・業種間や関係機関との連携
- ・地元就職の促進による地域企業の人材確保 等

3) 新しいしごとの創出事業

【具体的な事業】

- ・企業誘致の推進
- ・創業支援の充実
- ・製造業の強化 等

4) しごとと子育ての両立支援事業

【具体的な事業】

- ・子育てと仕事が両立できる環境の整備 等

イ 平泉町での結婚・出産の希望をかなえ、豊かな子育て環境を整える事業

1) 出会いから子育てまで切れ目のない支援事業

【具体的な事業】

- ・ 出会い・結婚のきっかけづくり
- ・ 子育て環境の充実
- ・ 経済的負担の軽減 等

2) 子どもたちの「学び」の充実事業

【具体的な事業】

- ・ 教育環境の充実
- ・ 学力の向上と英語力の強化 等

ウ 平泉町でいつまでも安心して暮らせる環境を確保する事業

1) ライフステージに応じた健康づくりの推進事業

【具体的な事業】

- ・ ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの促進
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 等

2) 安全・安心で快適な地域社会をつくる

【具体的な事業】

- ・ 防災・減災の推進
- ・ 地域公共交通の充実
- ・ 循環型社会の形成
- ・ 安全で快適な道路環境づくり
- ・ 地域DXの推進 等

3) 地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保事業

【具体的な事業】

- ・ 協働によるまちづくりの推進
- ・ 地域コミュニティ活動の促進 等

4) 広域連携による持続可能な地域づくり事業

【具体的な事業】

- ・ 広域連携の推進 等

エ 多様な“ひと”に選ばれる平泉町をつくる事業

1) 移住・定住の促進事業

【具体的な事業】

- ・ U I J ターンの促進
- ・ 若者世代の定住促進 等

2) 交流人口と関係人口の創出・拡大事業

【具体的な事業】

- ・ 地域資源を活かした観光と交流の推進
- ・ 広域観光による周遊促進
- ・ 町とのつながりづくり 等

※なお、詳細は平泉町まち・ひと・しごと創生総合戦略 2026 のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,500,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

既存の行政評価制度を活用するとともに、毎年度 10 月頃に「平泉町地方創生外部有識者会議」において事業効果を客観的に検証・評価し、翌年度以降の取組方針を決定する。また、評価結果は、町のホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで